

8月5日始発前なので4時前に自宅を出て、横浜駅に向かう。45分ほど歩いて到着した。京浜東北線に乗り、東神奈川駅から横浜線八王子行きに乗り変えた。八王子から高尾行きに乗り換え、6時14分発の中央線松本行きに乗るためだった。3時間20分ほどかかって松本に着き、大糸線に乗り換えて、信濃大町まで向かった。そこからバスで30分扇沢にようやく到着。12時くらいになっていた。

身支度を整え、12時20分針ノ木岳登山口から登り始めた。最初は樹林帯の道で、関電トンネル管理用の林道沿いに出たり入ったりしながら進み、最後トンネル入口付近で別れた。河原のようなところを2、3回渡り、いつしか沢沿いの道になった。岩場もところどころあり、ガレ場の細い道から沢に落ちないように注意しながら登っていった。針ノ木雪渓はほとんど溶けて少なくなっていたためか、危険なので高巻きの道を通るよう立て看板が出ていた。針ノ木峠まで半分以上来た辺りで、予報どおり小雨が降りだした。少し離れたところで雷も鳴っている。そのうち大降りせず止んできた。稜線も近くなったところで沢水と別れる最後の水場で、テント泊用の水を汲んで補給した。水で荷物が一気に重くなった。最後の登りを頑張って登り、ようやく針ノ木小屋に到着した。5時半近くになっていた。

小屋でテントの受付を済ませ出ると、長野県警の山岳警備隊の人から声をかけられ、5時を過ぎて到着が遅いので、次回から気を付けてくださいと、言われた。各駅停車の電車で来ているので、仕方がないと反論したが、それでも何かあったら、夜でも対応しなくてはいけないので、計画を見直してくださいとのことだった。土曜日でテント場はいっぱいだったが、なんとか1人用の場所を見つけて設営した。今晚の夕食はカレーライスだった。ラジオで天気予報とニュースを聞いて、就寝した。夜中に外に出ると、星空が綺麗だった。

翌朝は4時半に起き、ラーメンライスを食べ、テントに荷物をデポして、6時、蓮華岳往復に出発した。朝のうちは天気も比較的良好、山並みや雲海も見られよかった。2時間ほどで戻り、テントをたたんで、荷物を収納していたら、9時頃針ノ木岳に向けての出発になってしまった。

重い荷物になって、ゆっくり登って行ったが、1時間ほどで針ノ木岳山頂2821mに到着した。ガスであまり眺望はよくなかったが、黒部ダムが下の方に見えた。これから向かうスバリ岳方面がやけに陰しく見えた。下り坂の道はザレていて滑りやすそうだったので、慎重に進んだ。岩場でゴツゴツした山だが、11時頃スバリ岳2752mに着いた。ここでも黒部ダムがよく見えた。堰堤や遊覧船が通っているのも見えた。赤沢岳に向かう途中では、雷鳥を2回、野うさぎ、テンなどを目撃できた。鳴沢岳まで岩のゴロゴロした山で、道のりは長かった。新越山荘、岩小屋沢岳と2600mほどが続くが、山の様相が岩山から徐々に木の多い山に変ってきた。種池山荘に向かう途中から雨が降りだし、一時強く降られた。崖沿いの道が多かったので、注意して進み、ようやく種池山荘に到着したのが17時半であった。雨もこの頃にはあがっていた。

山荘でテント泊の受付をしていたら、同じ会の佐藤さんから偶然声をかけられた。ガイドの仕事

で扇沢から登って小屋泊で、明日は針ノ木岳に向かうそうだ。テント場でテントを設営し、疲れて食欲があまりなかったので、夕食をラーメンで済ませた。食べ終わった頃から、雷雨の稲光りと雨が強く降りだした。明日の天気予報とニュースをラジオで聞いて、就寝した。

3日目4時半頃、朝外を見ると、ガスっていて雨が降りだしそうな天気だった。今日の予定の爺ヶ岳はどうしよかと、迷いながら、登らずに直接扇沢に下山することも考えた。とりあえず、朝食にハヤシライスを食べ、テントをたたんでいるうちに、雲の切れ間から晴れ間が見えてきた。山荘の前で身支度を整え、爺ヶ岳に行くことにして、7時頃出発した。

最初ガスっていて見晴らしが悪かったが、8時頃から晴れてきた。見晴らしがよくなって、遠方の剣岳などが見えた。爺ヶ岳南峰に着くと、昨日歩いてきた、スバリ岳、赤沢岳方面が望めた。数組の登山客がいたが、多くは南峰だけ登って、種池山荘に引き返すようだった。私は爺ヶ岳中峰と北峰も行ってみようと、先に進んだ。20分ほどで中峰2669mに着き、休んでいると、後からきた女性から写真を撮ってくれるよう頼まれた。北峰にも行くのかと聞いてみると、北峰は立ち入れないと聞いたとのことだった。とりあえず行って確かめようと、先に進み、30分ほどで北峰付近に到着したが、植生保護のため立入禁止(富山県)の立て看板が立っていた。仕方ないので、引き返して下山することにした。

天気もってくれてよかった。種池山荘にもうすぐ着きそうな時、道わきに黒いまるっこい生き物が、えさを探しているようなものを見つけた。よく見ると小柄な熊だった。山で野生の熊を見るのは初めてだった。刺激しないように通り過ぎようとしていると、熊はこちらに気づいて、急いで草むらに逃げて行ってしまった。種池山荘付近は熊の目撃情報が多数あり、熊出没注意の立て看板が出ている。

種池山荘前で少し休憩後、10時15分頃、柏原新道を扇沢に向け下山し始めた。登ってくる登山者と多くすれ違った。途中1回休憩し、半分を過ぎた辺りから、扇沢の駅と駐車場が見えてきた。そのうち沢の音が聞こえるようになり、しばらくすると川沿いの登山口に出た。13時頃だった。そこから10~15分ほど歩いて、扇沢の駅に到着した。